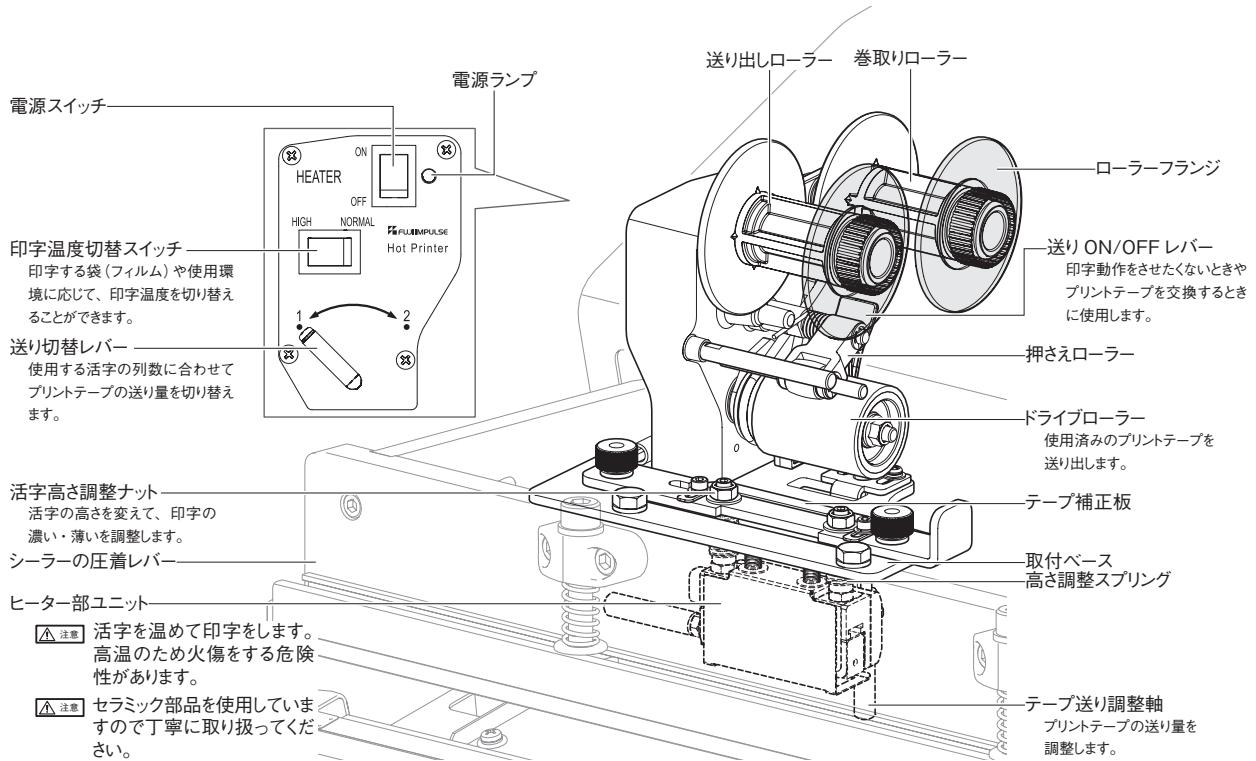
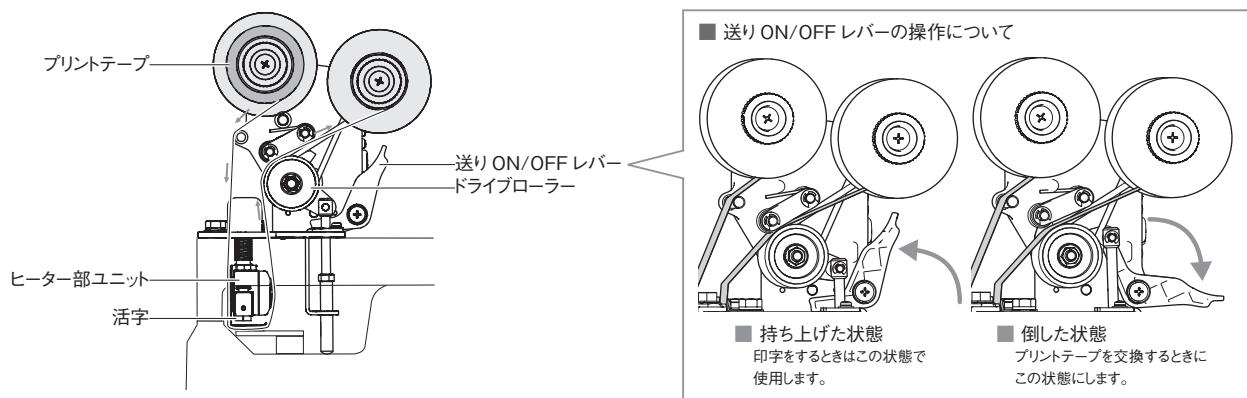


## 6 各部の名称とはたらき



### 本体ユニットの構造図



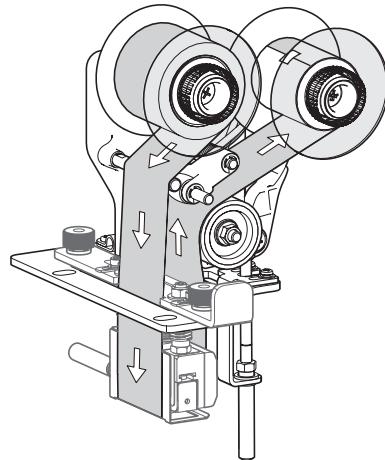
## 7 正しい使い方

製品を使用されるときは以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。  
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

### 7-1 プリントテープを取り付ける

「8-2 プリントテープ交換」(→ P.18)を参照して、  
プリントテープをプリンターにセットします。

**MEMO** 工場出荷時にはあらかじめプリントテープがセッ  
トされています。

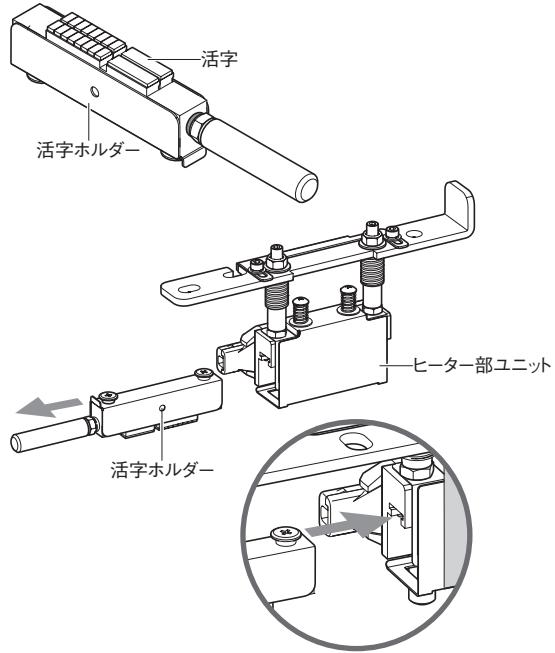


### 7-2 活字をセットする

「8-3 活字の交換」(→ P.21)を参照して、活字  
ホルダーに活字を入れて、ヒーター部ユニットにセットし  
ます。

**MEMO** 工場出荷時にはあらかじめ活字が1列セットさ  
れています。

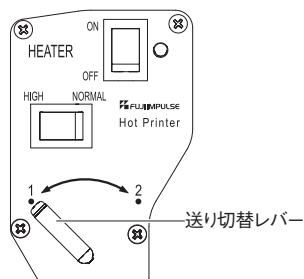
**注！** 活字ホルダーの2つの突起部がヒーター部ユ  
ニットの溝に確実に入るようにまっすぐ差し込んでください。



### 7-3 プリントテープの送り量を設定する

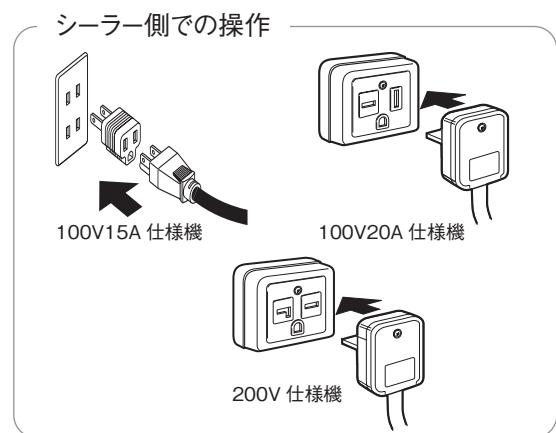
「9-2 印字列数の切替」(→ P.27)を参照して、  
活字の列数に合わせて送り切替レバーを設定します。

**MEMO** 工場出荷時には1列送りに設定されています。



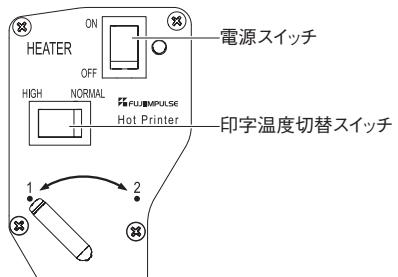
## 7-4 シーラー本体の電源スイッチを ON

シーラー本体の電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを ON にしてください。シーラーの取り扱いについては、シーラーの取扱説明書を参照してください。



## 7-5 プリンターの電源スイッチを ON

プリンターの電源スイッチを ON にしてください。  
同時にプリンターの電源ランプが点灯し、ヒーターが温まり始めます。



## 7-6 印字温度を切り替える

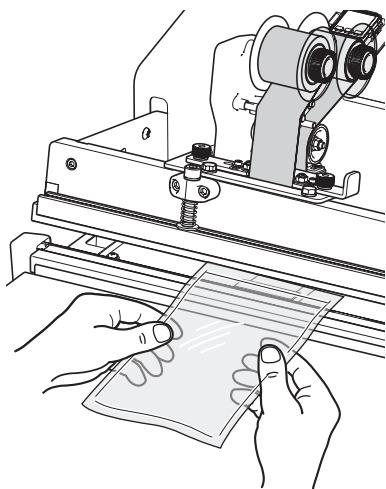
通常は NORMAL で使用し、HIGH にすると印字温度が高くなります。  
印字する袋（フィルム）や使用環境に応じて、印字温度を切り替えてください。

## 7-7 適温になるまで待つ

ヒーターが印字可能な状態に温まるまで 10 ~ 15 分お待ちください。

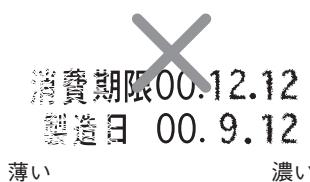
## 7-8 シーラー本体でシール作業を行う

ヒーター部が印字可能な状態に温まればシーラー本体のシール部に袋（フィルム）をセットし、シール作業を行うとシールと同時に活字受けゴムのある位置へ印字が行われます。



## 7-9 印字状態の確認

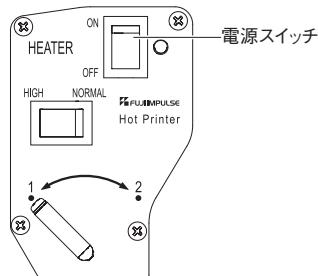
印字がきれいにできていない場合は、「9-1 ヒーター部ユニット（活字）の高さ調整」（→ P.26）を参照して、きれいな印字ができるよう調整を行ってください。



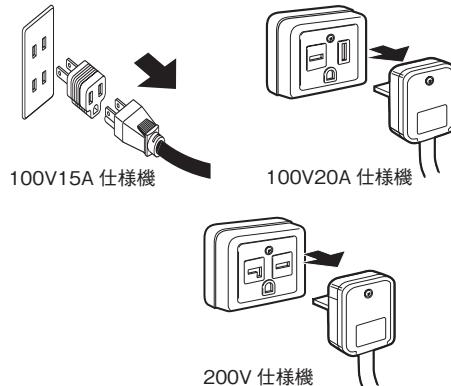
## 7-10 電源スイッチを OFF

作業が終わったらプリンターの電源スイッチを OFF にし、シーラーの電源スイッチを OFF にしてください。

**△ 注意** 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。不用意に触れないように注意してください。



シーラー側での操作



長時間使用しない場合は、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてください。

## 7-11 作業終了後の点検

作業終了後は、清掃を行い、活字などの部品が傷んでいないか点検を行い、必要に応じて交換をしてください。

**△ 注意** 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。清掃の際はプリンターのヒーター部が充分に冷えてから作業を行ってください。

